

拠出金名: OECD/NEA特別拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(文部科学省)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成19年度の拠出総額				605,543千円	
国際機関等名	経済協力開発機構原子力機関 (英文名称・略称) Organisation for Economic Co-operation and Development / The Nuclear Energy Agency (OECD/NEA)				
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所轄官庁担当局課名	文部科学省 研究開発局 原子力計画課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ユーロ)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成19年度	264,991	1,803		1ユーロ = 147円	0
平成18年度	245,162	1,803		1ユーロ = 136円	0
平成17年度	85,035	625		1ユーロ = 136円	0
当該拠出金の目的・用途等	会議の開催及び調査等に使用するため。				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2007年のもの)(注1)				国際機関等の財政 (2007年度決算)	
	国 名	金額 (千ユーロ)	拠出率(注2) (%)	当該年度の収入 10,519千ユーロ 当該年度の支出 10,519千ユーロ 次年度への繰越 0	
1位	アメリカ	2,533	25.0	会計検査機関名 Board of Auditors, Deloitte & Associés	
2位	日本	1,733	17.0		
3位	ドイツ	991	9.8		
4位	イギリス	774	7.6		
5位	フランス	723	7.1		
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
NEAは、北米、欧州、アジア、太平洋地域の先進国をメンバーとし、原子力の平和利用に関わる技術的側面に焦点を絞った討論の場を加盟国に提供できる唯一の国際機関。加盟国の特定の必要性に焦点を合わせた活動、柔軟性、時機に即した問題処理能力、加盟国間のコンセンサス作りの面で重要な役割を果たしており、我が国としても高く評価している。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
NEAの予算の増加を抑え、かつその活動の効率性を高めるため、活動に対し優先順位をつけ、資源配分を行っているほか、委員会活動の見直しを行うなどの改革が行われた。また、近年の予算は実質ゼロ成長もしくはそれ以下の伸び率であり、これら合理化努力は我が国の主張に沿うものである。					
邦人職員数	4人	当該機関全体の職員数	69人		
うち幹部以上	うち 1人	及び邦人職員が占める率	5.8%		
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
安全・規制担当次長		吉村 宇一郎		経済産業省	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
未定					

(注1) NEA本体への拠出に関するもの。

(注2) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。

(参考1) NEAには、この他に経済産業省予算より拠出している。